

家庭数配布

学校教育目標

☆ なかよく  
☆ かしこく  
☆ たくましく

明るい子 思いやりのある子 ねばり強い子

**け や き**

令和4年2月号 北本市立北小学校  
ホームページアドレス <http://kita.city.kitamoto.saitama.jp/>



2月の生活目標

〇うがい、手洗いをしよう



2月の行事予定

2月のみらせ

1	火	1・2年特日課5時間 3～6年特日課6時間 朝清掃	16	水	朝読書等
2	水	1・2年特日課5時間 3～6年特日課6時間 朝清掃	17	木	朝清掃
3	木	1年特日課5時間 2～6年特日課6時間 朝清掃	18	金	朝読書等
4	金	1～3年特日課5時間 4～6年特日課6時間 朝清掃	19	土	
5	土		20	日	
6	日		21	月	朝読書等
7	月	全学年特日課5時間 朝清掃 委員会→中止	22	火	朝読書等
8	火	1・2年特日課5時間 3～6年特日課6時間 全校朝会	23	水	天皇誕生日
9	水	1・2年特日課5時間 3～6年特日課6時間 朝清掃 進入学児童保護者説明会	24	木	朝清掃 スクールカウンセラー による教育相談日
10	木	1年特日課5時間 2～6年特日課6時間 朝清掃	25	金	朝読書等 教育相談日
11	金	建国記念の日	26	土	
12	土		27	日	
13	日				
14	月	朝読書等 5・6年 薬物乱用防止教室 (オンライン) クラブ →中止	28	月	朝自習
15	火	朝読書等			

◇1～5年の学年末の授業参観は、今年中止します。

1月にお知らせをしていた(2月16日(水)・17日(木))1～5年生の授業参観は、新型コロナウイルス感染の広がりを防ぐため、中止いたします。

また、朝の登校時間は、しばらくの間、8:00～8:10とし、朝の健康観察をしっかり行うとともに、対策をとりながら、学習を進めさせていただきます。

※6年生の授業参観・懇談会は、3月に延期させていただきます。

◇オンライン授業

子ども達が、担任とつながりを持ち、学校での様子がお伝えできるように、1月からオンライン授業に取り組みはじめております。さまざまな課題もありますが、少しずつ工夫をこらし、配信をしたいと考えております。ご家庭でのご協力に感謝申し上げます。



《お願い》

2月は、寒さが厳しい上に、換気をこまめにおこなっているため、ご家庭で過ごす服装よりも1枚多めに着るなど、体温調整がしやすい服装を心がけてください。

「健康チェックカード」は、土日休日も、記入をお願いします。

※発熱等がありましたら、北小へご連絡ください。

北小学校 048(542)3144  
※体調を整えるためにも、朝ご飯をとることや休憩をとることをおこなってください。手洗い、うがいも、こまめにおこなうように声かけをお願いします。



鬼とは何か

かつて、テレビ番組で、赤い鬼が描かれている絵巻が紹介されていました。鬼は複数描かれていて、家に入り込もうとしているものや、人を襲っているものなどがいました。

描かれた鬼は何を表しているのか、番組では、ある研究者の見解が述べられていました。その研究者は、鬼は疫病を表している、と語っていました。感染症です。

今では、科学の進歩のおかげで、感染症を引き起こす正体はウイルスだと分かっています。しかし、昔はその正体を知るよしがありません。ある日、突然、前触れもなく病に冒される。そして、同じような症状が次々と起こる。相当の恐怖だったと思います。人心は乱れ、世の中も乱れていったことでしょう。目に見えない、得体の知れない何かがいる。それを表現したのが鬼だったそうです。

「鬼」を広辞苑(第七版)で調べてみると、「隠(おん)」という、姿が見えないという意味の言葉が語源です。新型コロナウイルスは、まさに「隠(おん)」であり、現代の鬼とも言えるのではないのでしょうか。

しかし、現代の私たちは、科学の眼をもって、この「鬼」の正体を知っています。そして、この鬼を可能な限り寄せ付けない方法も知っています。3学期の始業式では、あらためて、新型コロナウイルスについて、正しく恐れれば怖くない、と子供たちに伝えました。正しく恐れる方法は、マスクの着用、徹底した手洗い、手指消毒、こまめな換気、3密を避けること。これには、2つの側面があります。一つは外部からウイルスが入りこまないようにすること。もう一つは、自分も感染しているかもしれないと考えて、周りの人にウイルスを移さないようにすることです。この両方の側面を実践していこうと子どもたちに呼びかけました。

一番怖いのは、ウイルスが心の中に「恐れ」という形で感染してしまうことです。いち早く日本赤十字社が警鐘を鳴らしたのがこのことです。私たちが十分に気をつけなければならないことは、目に見えないウイルスへの恐れが、知らず知らずのうちに、目に見える対象、つまり、人への憎悪と変わってしまうことです。ウイルスという鬼が、体ではなく、心の中につけ入ることを防がなければなりません。そのために、「正しく恐れる」ことが重要です。感染した人を詮索したり責めたりすることは厳に慎まなければなりません。そのこと自体がすでに差別や偏見を生んでいることに気がつかなければなりません。感染が悪い訳ではないのです。感染させるウイルスが悪いのです。

感染力がとても強いオミクロン株が急激に広がっています。今は、誰にでも感染する可能性があります。少しでも体調に変化を感じれば、感染を疑い、自分や家族が感染を広げないように行動することが大切です。人は得てして、自分は大丈夫だろう、と考える「正常性バイアス」に陥ってしまいます。それに気づき行動するには、常に「もしかして」と、疑う冷静さが必要です。

本校では、「北本市立小・中学校における臨時休業等の目安」をもとに、感染拡大防止と教育活動の両立を目指しています。私たち教職員は、教育におけるエッセンシャルワーカーとしての自負を持ち、オンライン授業やオンライン配信を臨機応変に組み合わせ、子供たちの安全、安心と学びの継続を推進してまいります。保護者の皆様をお願いします。コロナが収束するまでは、お子さんだけでなく、保護者の方にも、少しでも体調に違和感があるときは、お子さんの登校をお控えください。今は皆が皆を守る行動が、大切なときです。ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。